

## 参加申し込み方法・連絡先

この案内書に添付の「参加申し込みフォーム」に、必要事項記入後、下記申し込み先に郵送いただくか、ファクシミリでお申し込み下さい。お申し込み後、参加要綱を送付いたします。詳しくはお電話でご相談させていただきます。このことに関して、プライバシーは厳守されます。

### 問い合わせ・申込み先

本部 宮崎 輝彦 TEL/FAX 03-3709-4803  
〒157-0076 東京都世田谷区岡本 1-3-1-206  
★関西オフィス：佐橋 啓空（通照院）  
TEL 070-5041-9186 / FAX 078-708-7722  
〒655-0037 兵庫県神戸市垂水区歌敷山 1-5-19

★メールでもお問い合わせいただけます。

[support@ldt-workshop.org](mailto:support@ldt-workshop.org)

★各オフィス・デスクでも、相談・申し込みいただけます。

## 参加者のからだの状態に応じた対応をします

さまざまなことと身体の状態の方でも参加が可能になるよう、出来るだけの対応をしております。重病の方や介助なしには歩くことが出来ない方の参加にあたっては、ご本人やご家族とまた場合により担当医師と相談し、参加期間中のサポートに配慮いたします。

## ワークショップへの参加をお断りする場合

精神的疾患のある方は時に悪影響が生じることがあるため、参加をお断りする場合があります。

## ワークショップの概要

- 1日目 心の動きを知る自己作業  
オリエンテーション、ワーク
- 2日目 ワーク、レクチャー
- 3日目 振り返り、セレモニー、解散

## ロス博士とともに誓い



(全写真は、ケン・ロス氏「EKR最良の土曜日」  
2004年6月26日に我々スタッフとともに撮影)

Elisabeth Kübler Ross International Groups  
日本LDTワークショップ実行委員会本部

代表 宮崎 輝彦  
TEL/FAX 03-3709-4803  
〒157-0076 東京都世田谷区岡本 1-3-1-206

埼玉デスク 大場 満洋 T 048-645-4927  
F 048-647-0697

関西オフィス 佐橋 啓空（通照院）  
T 070-5041-9186  
F 078-708-7722

西宮デスク 城谷 昌彦 T/F 0798-72-8768

三木デスク 山本 篤 T 0794-84-1755  
F 0794-88-8721

九州オフィス 満岡 聡（満岡内科消化器科医院）  
T 0952-51-292  
F 0952-51-2923

〒840-0201 佐賀県佐賀市大和町大字尼寺 848-11

ホームページ <http://www.ldt-workshop.org>

## キューブラー・ロスの ワークショップ

第39回ワークショップ  
開催日時：2016年5月3日-5日  
開催地：埼玉県比企郡  
開催場所：国立女性教育会館

エリザベス・キューブラー・ロス博士の  
生と死、そして乗り越えるためのワークショップ  
今、ここから一步を踏み出す…  
よりよく生き抜くための  
グリーンワークへの誘い



主催 日本LDTワークショップ実行委員会  
共催 Elisabeth Kübler-Ross Foundation, US  
後援 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

## エリザベス・キューブラー・ロス博士の グリーフワークについて

LDTワークショップは、生(Life)と死(Death)、そして、超越(Transition)のためのワークショップといえます。創始者エリザベス・キューブラー・ロス博士は、「死の5段階説」や終末期ケアとりわけ「ホスピス」の創始者として世界的に有名な精神科医です。『死ぬ瞬間』シリーズ、『人生は廻る輪のように』そして『ライフレッスン』などの著作で多くの人々に親しまれています。

米国でのワークショップは、1977年から終末期患者のメンタルサポートを目的として始まりました。その後、死に直面する方々ばかりでなく、その家族や最愛の人を失った方、その他の様々な原因でこころに傷を受けて立ち直れないでいる方、そしてメンタルサポーターとしての医療従事者へと輪を広げていきました。

ロス博士は、「精神死」(生きることに何らかの内的な悩みを抱え込んでいる状態)にある人々に対して、LDTワークショップは世界のどの国の人々でも共通のこころの解放と癒しの効果が現れることを確認し世界に広めました。



ロス博士[中央]ご子息ケンロス氏(後方中央)

## Life, Death and Transitional Workshop (こころのりこえ作業をグループで行う集い)

このワークショップは医療に起因を持ちますが、医療行為を施すものではありません。また心理カウンセリングを受けていただく場でもありません。さらに特定の宗教の布教活動や宗教的儀式を行うものでもありません。

家庭や学校や職場や医療機関や社会で日常活動する人々が抱える医療の対象とはなりにくいこころの課題を、様々な立場や視点からその課題を見ることが出来るスタッフが集合し、参加者の自主的課題解決とこころの解放の手助けをします。このワークショップは、参加者が専門家の助言を得ながら自ら問題解決を行っていくグループ作業です。参加者一人ひとりについて、そのこころの底にある声に耳を傾けて聴くことから始めて、こころの解放までをロス博士が考案したユニークなプロセスで行われます。



ロス博士と最後のワークショップ  
(訪問2ヵ月後の2004年8月24日に逝去されました)

## 求めるものは、生き生きとしたこころの再生

このワークショップは、他のワークショップやセミナーに見られるような競争に打ち勝つために「自己成長を目指す」ものとは、本質的に異なります。なぜなら、こころの悩みやわだかまりは、身体の不調や病気につながることをよく理解すること、生きていくことがつらくなるような、とても受け入れがたい苦しみや、悲しみ、こころの奥のわだかまりを受け入れてこころを解き放つこと、生きることに、意味が見出せるような「こころの解放と再生」が目的だからです。また、このワークショップを通じて、支えあう心の友(フレンズと呼ぶ)を得ます。そして医療ではカバーしきれない日常生活に影響を及ぼすこころの問題と向き合っていくようになります。

## 次のようなこころの状態にある方が参加対象

このワークショップは、難病やがんで、死に直面しているご自身やそのご家族、または家族や最愛の人の突然の死別で苦しみ、悲しみ、空虚から脱出できないでいる方、家庭内暴力の被害者、さらに医療の対象にならないような、生きることに困難な状況にある方(自分の人生に解決しがたい重荷やトラウマを背負い込んで、こころが疲れきっている方々や孤独感の強い方)などが、参加の対象となります。

「明日を生きるために」わずかな時間を共有し、互いの痛みを分かち合い、みずからも乗り越えようと思う問題をお持ちの方の参加をお待ちしています。

また、ホスピスなどにかかわる医療関係者をはじめ、職業上、他者のために悩みを共有する立場の方々の参加も受け付けております。

## ワークショップのスタッフについて

ワークショップの作業サポートを行うスタッフは、ロス博士よりLDTワークショップ実施者としての認証を受けております。

スタッフは、内科医、ホスピス医、看護師、薬剤師、臨床検査技師、鍼灸師、いのちの電話相談員、臨床心理士、児童相談員、幼児教育者、仏教者、介護福祉士、ホスピスボランティア、社会保険労務士補など、人に関する多岐の職業分野にわたります・

こころの問題の奥に内在する固有の課題や社会問題を多角的に捉えることが可能な人材構成となっており、全員無償ボランティアです。

## 参加者のプライバシー保護について

参加者の住所、氏名、参加申込書に記入したことは個人情報保護法に則って厳重に一元管理されます。このワークショップ参加に関すること以外に使用しません。また、ワークショップで表現された参加者個々の内容などプライバシーに関することは厳重に守秘されます。また、参加された個人の許可なく、ワークショップで、その方が表現された内容を第三者に提供することは、ありません。

(日本LDTワークショップ代表 宮崎輝彦)

## 悲しみ、苦しみを乗り越える支援活動 三十年余

日本のLDTワークショップは、1987年、当時日本医師会理事であったト部文麿博士により日本に導入されました。その後、日本人に適合するようにアレンジされ、1994年来日したロス博士の立会いで確認・認証された方法を基本に、以降毎年実施してきました。その間、看護学校や社会教育研究所講習会等での体験ワークも行われました。現在は、春・秋の年2回、関東と関西で開催しています。